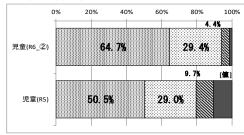
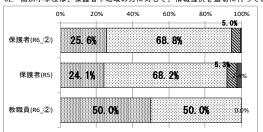


#### 31. 高洲小学校に通えて良かったと思う。



32. 高洲小学校は、保護者や地域の方に対して、情報提供を適切に行っている。



「子どもをよりよく育てる」ためのアンケート (学校評価アンケート) の結果について

#### 1 目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表により、保護者、地域住民等から理解と 参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。

### 2 実施日

児童 1/27(月)~2/3日(月) 保護者 1/24(金)~2/3日(月) 教職員 1/24(金)~2/3日(月)

 3
 回収率
 <参考>R5

 児童
 474名/526名
 90.1%
 89.8%

 保護者
 217名/420名(家庭数)
 51.7%
 64.9%

## 4 回答と結果について

- ・質問に対しての回答は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」 の4択とし、児童は質問に対して、保護者は「お子さんは」もしくは「保護者は」と、教職員は「高洲小学校の 児童は」「高洲小学校は」と主語を置き換えて回答する。
- ・ 別紙のグラフは回答の割合を示すものとし、グラフの色のパターンは以下のとおりである。

・・・ よくあてはまる
・・・ だいたいあてはまる
・・・ あまりあてはまらない
・・・ あてはまらない

・「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的な回答、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を 否定的な回答として考察する。

## 5 結果と今後の取り組みについて

- (1) 学校教育目標「<u>学**び合い、高め合い、</u>心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について**</u>
- ・ R5に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問の 1 、 2 、 3 、 4 、 6 、 8 、 9 、10である。
- ・ R5に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、質問の5である。
- ・ 質問 1 において、児童、保護者ともに肯定的な回答が昨年度を上回った。
- ・ 質問5・6については、質問内容を変更したため単純比較にはならない。
- ・児童・保護者ともに約90%が教科によっていろいろな先生から教わることに肯定的である。
- → 概ね、昨年度と同様の結果であることから、引き続き、学び合い、高め合う学習の充実を図っていきます。 友だちの意見を聞いて、それを踏まえて自分の意見や考えを発表できるよう継続して取り組みます。
- (2) 学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について
- ・ R5に比べ、児童の肯定的な回答の割合が増えたのは、質問11,17,20,22である。
- · R5に比べ、児童の肯定的な回答の割合が3%以上減ったのは、質問の12である。
- ・ 質問12、18については、質問内容を変更したため単純比較にならない。
- ・ 質問23について「絶対にいけない」と考える保護者は15.9%である。
- ・ 質問 1 5 では、児童・教職員と保護者の回答に大きな差がある。
- → 引き続き、心豊かな児童の育成を目指し、道徳教育や特別活動の充実を図っていきます。 いじめアンケートやにじいろルームでの相談、子どものつぶやきなどから「いじめ」に関しての情報をしっかりと キャッチし、保護者とも連携を取りながら、より一層、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めていきます。
- (3) 学校教育目標「学び合い、高め合い、心豊かでたくましい子どもの育成」に関する質問項目について
- ・ 質問26では、昨年度より肯定的な回答が低下した。
- ・ 質問29では、昨年度より肯定的な回答が微増した。
- ・ 質問31では、肯定的な回答が昨年度を大きく上回った。
- → 体育の時間の充実と日常の運動の奨励を継続し、運動に親しみながら体力の向上を図っていきます。
  地域との連携、高洲中学校区の園小中連携の取り組みを推進し、高洲地区とのつながりの心を培います。

# 学校関係者評価委員の皆様からの意見

- ・地域ですれ違う時に、声をよくかけてくれる。「ていねいな言葉」と「あいさつ」は、今後もしっかりと指導し続けてほしい。
- ・「町たんけん」や「はなまる先生」などに参加させてもらい、顔を知り合えたことを実感している。
- ・「いじめ」に関する質問の結果について、肯定的な結果の低さが気になった。「どんなことがあってもいじめはいけないことである」という認識を 子どもとともに、保護者も強くもつことがいじめの撲滅になると思う。
- ・コミュニティースクールが始まり、学校と地域が様々なことで連携できている。活動が継続したり、定着するためにはまだ時間がかかるかもしれないが、かかわりが深く、広がるように協力していきたい。
- ・回答率が低いが、他校などはどの程度なのか。(50~60%程度)学校への意識をさらにあげ、地域の力で子どもたちを育てていけるようにしたい。